



顧問、あ然・・・

待ちに待った日章戦。一昨日の練習だったかな。「日章に勝つためにパス出せよ！今までは良くて、変わらないといけないんだよ！」快英君の味方に対する言葉かけ。「俺だってやってるんだよ！」聖騎君の応答。「練習で意識を高めて、本番日章に対してつめ跡を残そう！」コーチの熱い期待。チームが、皆が一つになり、高めた意識。うん。良い雰囲気でした。

しかし、昨日の練習前の風景。帰りの会が1時25分に終わり、着替えを終えた部員たちが続々とグラウンドに足を運びました。「明日に向けて、どんな雰囲気かな・・・？」顧問の僕は、部員と話をするために部室を開けました。・・・が・・・

まず、脱いだ制服のズボンが部室の真ん中に放置されていました。「おい、これ誰の？」の問いかけに、「知りません。」の部員の答え。部室の角に放置されたバッグ。部室の棚に直されていない誰のか分からない登校シューズ。荷物の整理ができず、散乱された部室に対して誰も何も言わない。いや、もしかしたら、誰か何か言おうとしたかもしれない。でも、改善できないまま放置した状態。

すぐに部員を集合させようと、笛を鳴らしました。まあ、昨日は暑かったよ。部室前の大きな木の下で座っている大半の部員は、座ったまま。すぐに集合したのは爽和君を始めとしたほんの4～5人。「あち～。もう練習？」なんて言葉も聞こえました。部室の管理の悪さ。練習の始まる前の雰囲気の悪さ。

さあ、サッカー部の皆。君たちがこの状況を客観的に見て改善しようと言葉かけをするなら、どんな言葉かけをするかな？

「練習をダラダラするぐらいやる気がないなら、帰れ。」僕は本気で思い、言葉をかけました。その言葉に対して、「おれ、帰ろっかな～？」なんて言葉で返す部員1人。もちろん、呼んで指導しました。久しぶりに大きな声出したなあ。ただただ、残念。「帰ろっかな～」なんて言いふらすぐらいなら、帰れ。築き上げてきた信頼をぶち壊す言葉はいらない。「何で部室しっかり使えないんだよ！」なんて言葉、出てほしかったなあ。



「荷物の管理ができない人は、自分の管理はできない。自分の管理ができない人を見て、チームの管理ができなくなる。だから、荷物の整理は大事。」僕が中学生のころ、顧問の先生からもらった言葉が浮かびました。だから、サッカー部君たちに同じ言葉を送ります。小さいことだろうけど、僕は部室の管理の悪さから昨日の練習の雰囲気が出たかなと思います。悪いけど、次同じ部室の散乱を見かけたら、部室の使用は禁止。そんな難しくないよ。だって、今まで

【強豪校の荷物の管理】できていたから。



【以前の部室】



【強豪校の部室】

崩れるか 崩れないか

新入生が入り、中体連まで残すところ2か月を切りました。この時期になってどの部活でも起こる現象が、実は上で書いたようなこと。「今までできていたことが、できなくなる現象」です。理由は色々ありますが、要員の1つに「先輩としての在り方」が挙げられます。

まずは、楽をするパターン。「俺たちが我慢してやってきたから、お前たちもやれ。」まあ、最悪ですね。不満の連鎖のスタート。管理すべきトップの集団が楽をして、やれていたことにほころびが生まれてしまいます。そして、しっかりと教えられないパターン。このパターンが多いかなと思います。部室



の使い方。靴の並べ方。決まり事。やってはいけないこと。それらをきちんと行動と言葉で伝えられず、「普通わかるだろ」という言葉で終わらせてしまう。言葉だけじゃダメ。「先輩という自尊が邪魔したコミュニケーション不足」がよく起きます。

「今年の1年、〇〇です！」なんて言葉を聞きますが、その1年に対して自分たちがどれだけ関わっているかがポイント。何も知らない1年生は、先輩を写す鏡。例えばグラウンド整備をしない先輩がいれば、マネをする。部室の管理ができない・教えられていない先輩がいれば、当然できなくなる。

【 対面式の写真 】

きちんと行動と言葉で伝えた上でできないようであれば、注意をする。注意ができずに「今年の1年生は〇〇です！」は、ただの無責任。

大掃除をして、部室の使い方を変えた今年のチーム。昨日の1日で崩れたよ。中体連まで残りの過ごし方で、崩れるかより良くなるか。それは、君たちの行動次第。

さあ、今日の行動。オフ・ザ・ピッチの君たちの行動、客観的に見えています！